

令和3年度社会福祉法人えぼっく事業報告書

1 1年を振り返って

令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策に明け暮れた1年になりました。複数の事業所において、合計で利用者11名、職員7名の陽性が確認され、その都度、必要な対応をとりました。緊急事態宣言、まん延防止等重点措置期間は7か月近くに及び、各種行事の自粛、個別のニーズにこたえた外出の機会は大きく制約を受け、利用者の皆さんも我慢の1年になってしまいました。その中で、感染症対策については、感染症委員会が中心となって、各事業所の日々の感染対策についての再確認や状況に応じて各事業所職員への周知に取り組み、感染対策の実施の徹底と啓発に取り組みました。

令和2年度末に札幌市の公募型企画競争に応募し令和3年度から受託することが決まった札幌市の障がい者相談支援事業等の札幌市委託の4事業を4月から札幌市厚別区で開始しました。社会福祉士・精神保健福祉士等を10名配置して、地域における障がい者への相談支援事業、有償ボランティア事業、被虐待者へ地域生活支援事業等に取り組みました。

障がい者グループホームについては、令和2年度末に完成したとをもって2号館が本格稼働するとともに、さらなるグループホーム利用希望の待機者解消のため、ほこしあの大規模改修により、夜間の職員配置のある重度者にも対応可能なグループホームをほこしあ1階に男女各1ユニット再整備しました。

ホホエムにおいては、事務部門の移転や環境改善のための改修を実施し、1階の日中の活動にエアコンを設置、トイレの増設、個別の活動ブースの整備などを行い、ご利用者がより良い環境で活動できるよう整備を行いました。

グループホームほこしあは感染対策に細心の注意を払いながら、介護の質向上のための日々の業務振り返りの継続や、身体拘束ゼロの継続を目的とした会議、研修を行いました。

きたひろしま暮らしサポートセンターぼるとにおいては、コロナ禍、相談件数が大幅に増加しました。生活困窮状態のなかで、フードバンクぼすこや居住支援業務事業所えぼっくとの連携による支援も行いました。

法人本部を改修後のほこしあに移転させ、これまで、各事業所に点在していた事務局機能を一本化して、役職員数約130名の組織を支える事務局体制と本部機能の充実を図るための環境整備を行いました。今後、法人の中核の拠点として、事務・庶務・会計を担うだけの事務局機能から脱却し、法人全体のマネジメントを行う機能の強化に向け、支援部門と

両輪で法人体制のいっそうの整備をすすめていきます。

理事体制においては、リモートや対面による常勤理事同士のきめ細かな意思疎通を図り、意思決定をしていくことに力を入れました。ただし常勤理事の職務担当制の明確化と実行については一部課題として残りました。また、各事業所における施設長・管理者、主任等の役割と責任体制の明確化については、十分な議論をして体制づくりをするまでには至りませんでした。各種委員会活動については、事業所の枠を超え横断的にさまざまな階層、年齢の職員で構成して、主体的な活動に取り組むようこころがけ、具体的成果も現れはじめています。

人材確保については、令和3年度採用試験を実施して4年4月に入職した新卒採用者は1名にとどまり、新卒者の確保は今後の課題となりました。中途採用については、1年間を通して、新聞折り込みチラシ、知人を通じての紹介、人材派遣や紹介会社を通じての採用等、さまざまな手段で確保につとめました。20代、30代の採用が極めてきびしい状況にあり、今後の採用活動の見直し、再検討が課題となりました。

技能実習生については、コロナ禍、新規の入国が出来ず、ベトナムで待機している内定者5名の入国は5年度以降になりましたが、日本国内で働く外国人に対する特定技能（介護）による採用活動等、新たな人材確保に向けた取り組みにも着手しました。

コロナで始まりコロナで終わった1年間でしたが、コロナで達成できなかったこともありましたが、その中でも、利用者を中心にして、もう一步前進することを役職員一人ひとりがこころがけ行動し、令和4年度以降の飛躍に向けてしっかりとスタートラインにたつことができた1年間でした。

2 北広島共栄地区（ホホエム）

<生活介護・就労継続支援B型>

- ・ホホエム内の活動スペースの改修工事を行い個別ブース（10ヵ所）設置し落ち着ける空間を確保しシュレッター、お面作り、手芸、小物作り、紙漉き、ワーク など個別支援計画に沿った活動の提供を行った。

新型コロナウイルスの流行もあり公共の体育館を利用する事は難しかったが週1回近隣の公園へ散歩、敷地内の散歩は天候の良い日は毎日外に出て気分転換を図る機会を設けた。敷地内での外活動として夏場の家庭菜園規模の農耕やプランターを活用した花栽培植物栽培、雪かき、雪割りを行った。

- ・個々の障がいの特性に応じて個別ブース活用した作業の効率化や、ワーク、ボードを活用し予定を提示しながら作業を行った。
- ・月に一度の平日の余暇活動日には、調理や、ドライブや散歩など利用者様の楽しめる活動を取り入れ平日とのメリハリを持ち取り組んだ。

- ・喫茶れぞみにて開店前の時間を使い挨拶の練習など職員と共に取り組んだ。接客業務にも積極的にいきオーダー取りや食事を運ぶなどの接客業務、スープ作り、サラダ作りなどの調理補助、清掃業務を行っている。
- ・喫茶れぞみの通常メニュー（ハンバーグ、パスタ、カレー、サバの味噌煮）以外に、週替わりメニュー（ガパオライス、つくね丼、牛丼、生姜焼き）や期間限定メニュー（カレーうどん）を工夫し集客を増やせるように営業をおこなった。
- ・日中活動にて作成した小物（コースター、マスク、マスクケース、スマホポーチ、小物入れ、布のバック、ポケットティッシュ入れ、缶バッチ、モップ、巾着、糸たわし）を喫茶れぞみにて販売を行った。

<余暇活動等>

日時	内容	実施場所
令和3年4月27日（火）	恵庭桜公園ドライブ、散策	恵庭桜公園
6月22日（火）	バスボム作り、かき氷	ホホエム
7月27日（火）	水遊び、シャボン玉、かき氷	ホホエム敷地内
9月28日（火）	紅葉散歩	ホホエム
10月26日（火）	マリトッツオ作り	ホホエム
11月23日（火）	クリスマスリース作り	ホホエム
12月28日（火）	お好み焼き作り	ホホエム
令和4年1月25日（火）	ゆきだるま祭り・そり滑り	ホホエム敷地内
2月22日（火）	雪合戦/DVD鑑賞	ホホエム敷地内
3月24日（木）	フォトフレーム作り	ホホエム

※令和3年5月、8月は新型コロナ対応にて余暇活動は休止。

<短期入所>

- ・通所利用者や北広島市近郊の障がい者の利用希望に対応した。また、緊急対応についても、できるかぎり対応した。

<日中一時支援>

- ・北広島市内の利用者の入浴サービスなど継続して行った。
- ・生活介護利用者向けに生活介護終了後に日中一時支援を実施した。

<3年度の新規利用及び契約終了状況>

- ・新規1名 契約終了者 7名 3月31日現在利用者数 39名

3 地域生活支援センター（ともっと・あざれあ・てとる）

4-1 ともっと

<共同生活援助>

（地域生活支援センター）

- ・令和3年6月30日・7月7日に特別支援学校進路担当者向けの事業説明会を実施した。6月30日は5校が参加（七飯養護学校おしま分校、札幌養護学校、ほしみ高等学園、夕張

高等養護学校、札幌養護学校白桜高等学園) 7月7日は3校の参加があった(美唄養護学校、札幌伏見支援学校もなみ学園分校、平取養護学校)。

- ・ほこしあ1階の活動室や浴室・厨房部分の改修工事を実施し、グループホームきらっとの女性居住スペースとした。
- ・令和4年3月21日付の定員変更申請により、グループホームきらっとの定員が11名(女性5名、男性6名)となり、入居定員53名、短期入所定員2名とした。
- ・1年を通じ「まん延防止等重点措置」「緊急事態宣言」の期間が多く、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、利用者の帰省や外出の制限を行った。
- ・令和3年8月、とともと1・2号館で新型コロナウイルス感染クラスターが発生し、北海道による現地対策本部が設置され、感染者の健康観察期間が終了するまで毎日対策会議を実施し、感染者の健康状態、衛生用品の在庫確認を行った。
- ・大雪による落雪から建物の破損、設備の故障が有り、修繕を行った。
- ・ホームミーティングを実施し、余暇や生活課題について話し合いをし、生活の楽しみの幅を拡げ、感染症対策について理解を深めた。
- ・新型コロナウイルス感染拡大のため、町内会など地域活動への参加を自粛した。
- ・地震、洪水など自然災害や夜間帯を想定した避難訓練を実施し、ホーム内の避難経路の確認、避難所へ実際に避難し経路を確認するなど、防災に対する意識を高めた。また、職員は通報訓練や消火訓練を行い、緊急時の対応が確実に取れるよう訓練した。

<3年度の入居・退去及び入居状況>

- ・新規入居 4名 退去 3名 3月31日現在利用者数 46名

4-2 あざれあ

<特定相談支援・障がい児相談支援>

- ・登録者は85名で、計画作成のべ64名、モニタリング作成のべ192名となっている。
- ・主な対象は、北広島市内の障がい児者とえぼっく利用者で、法人内各事業所との連携や北広島市内の他事業所との連携を図るよう努めた。
- ・モニタリング時期や必要に応じてケア会議、サービス調整会議等を開催し、利用者の現状把握、支援の方向性について確認し、また各関係機関との連携をより強化できた。

4-3 てとる

<居宅介護・重度訪問介護・行動援護・移動支援>

- ・通所利用者、グループホーム利用者などの余暇支援を近隣の感染状況などを勘案しながら、外出先の選定や感染予防策を講じながら継続的に実施した。
- ・身体介護、通院介助などの支援についても継続的に医療機関への通院を実施し、健康状態の確認をして家庭やグループホームと連携した。

4 北広島団地地区(グループホームほこしあ)

<認知症対応型共同生活介護>

- ・法人理念に沿った事業方針を作成した。ケアプラン更新時等のカンファレンスで、事業方針を軸とし内容を検討。プランに反映することができた。

認知症ケア向上への対応として、職員一人一人が受け身ではなく、主体となり課題に取り組める体制作りとして、中堅職員で構成した委員会を事業所内で実施し、向上を図った。各種研修会への参加は、内部研修のみとなっている。

- ・感染症委員会をはじめ、職員会議等で感染症対策の取り組みを繰り返し行い、意識強化を図った。避難訓練は2回実施済。
- ・ほこしあ通信をリニューアルし、今年度は2回発行し、ご家族に配布した。
- ・利用者確保の取り組みでは、入居の問い合わせから、入居につながった経緯はあるが、地域包括支援センターや他の関係機関へのアナウンス活動は、実施出来ていない。
- ・四季の変化は、行事やレクリエーション、ホーム内の装飾等を工夫して行ったが、近隣の散歩等は、猛暑対応や感染対策を優先したため、実施出来ていない。
- ・ケアカンファレンスで、身体拘束に頼らない様、利用者の状態変化に応じたケアの内容を検討し実施した。又身体拘束の研修会を通して、介護技術向上に取り組んだ。
- ・利用者の体調の変化や服薬内容の変更等、それぞれの申し送り時や連絡ノートを用いて周知した。又、関係医療機関と連携して、相談や往診対応を依頼し、健康管理に努めた。

<ほこしあの行事>

開催日	催事等内容
令和3年4月23日(金)	誕生日会
6月10日～(木)	苗植え
6月25日(金)	誕生日会
7月26日(月)	誕生日会
8月7日(土)	ほこしあ夏祭り・七夕祭り
9月3日(金)	スイカ割り大会
9月20日(月)	敬老会
9月21日(火)	誕生日会
10月31日(日)	誕生日会
11月19日(金)	誕生日会
12月29日(水)	年末お楽しみ会
令和4年1月1日(土)	新年を祝う会
1月30日(日)	誕生日会
2月3日(木)	節分・鍋パーティー
2月28日(月)	誕生日会
3月15日(火)	誕生日会

<3年度の入居・退去及び入居状況>

- ・新規入居 2名 退去 1名 3月31日現在利用者数 16名

<認定就労訓練事業> (法人独自事業として、ほこしあで実施)

- ・1名の対象者について、ぽるとの就労訓練プログラムに基づき、ほこしあにて認定就労訓練事業を行った。浴室清掃や、共用フロア清掃に従事してもらった。(令和3年4月～5月にかけて計17日)

5 南幌地区（ハニカム）

<生活介護>

- ・職員会議の中で、作業内容や工程の見直しを行い、一日のスケジュールや個別での作業内容を確認できるよう、写真などを用いて情報提供を行った。また、利用者の状況の変化についても話し合い、支援内容の統一やハニカム内の環境整備を行った。
- ・令和4年のカレンダーを作成にあたっては、手漉きの紙を使い、利用者と一緒にイラストや日付の記入をした。
- ・新型コロナウイルス感染症により、日中活動に制限を課さなければいけない中、利用者・職員の感染症対策の見直しを行い、マスク着用への理解を得る工夫を行うとともに、手洗いと手指消毒の徹底を図った。
- ・1階、2階のテーブルなどの配置換えや、パーティションパネルの設置を行い、空間の確保や環境改善にも力を入れた。
- ・町内の公共施設を利用した運動に関しては、新型コロナウイルス感染対策で公共施設の利用ができない時期もあったが、週2回は人込みを避けて、町内を散策し体を動かす機会を設けた。室内でも音楽をかけて体を動かす時間を設定した。
- ・重大事故として、プラスチックグローブの誤食があった。今回の事故要因や再発防止について、緊急職員会議を3回開催した。防止策として、
 - ① 管理者、主任、サービス管理責任者が、これまで以上に利用者の状態や支援内容について各職員と連携を強化する。
 - ② 活動スペースやトイレ内の環境改善、プラスチックグローブなどの物品の保管を一か所に固定し用途別に保管する。
 - ③ 活動後や昼食後などの休憩スペースを設けるため、フロアマットを設置し安全に休むことができる環境を整える。

以上3点の改善を図り、職員間で防止策を継続しながら支援を行っている。

<余暇活動等>

日時	内容	実施場所
令和3年4月22日（木）	ドライブ フルーツサンド作り	ハニカム 栗山方面
5月27日（木）	お菓子パーティー	ハニカム
6月24日（木）	町内散策 ボウリング かき氷	南幌町内 ハニカム
7月29日（木）	スイカ割り 水遊び	ハニカム
8月26日（木）	ナン ラッシー作り	ハニカム
9月23日（木）	塗り絵 お菓子パーティー	ハニカム
10月28日（木）	ハロウィンパーティー	ハニカム
11月24日（水）	マリトッツォ作り	ハニカム
12月21日（火）	クリスマスパーティー	ハニカム
令和4年1月27日（木）	豆まき 成人を祝う会	ハニカム

2月24日(木)	アイスクャンドル作り ボウリング	ハニカム
3月24日(木)	フォトフレーム作り	ハニカム

<日中一時支援>

- ・生活介護利用者向けに生活介護終了後に日中一時支援を実施した。

<3年度の新規利用及び契約終了状況>

- ・新規利用者 2名 契約終了者 2名 現実利用者数 24名

6 室蘭地区（八丁平共生型センターはっち）

6-1 ろぐらん

<生活介護>

- ・個々の身体機能に合わせた介護を行うため、介護技術研修を継続して行った。また、技能実習生に対しても、介護技術研修を直接もしくはzoomを利用して計16回おこなった。
- ・経管による胃瘻を必要とする方には、看護師の他3号研修を修了した職員が引き続き、ケアを行っている。喀痰吸引については、看護師が対応している。
- ・感染症委員会でのルールを遵守し館内設備の消毒の徹底や、手指消毒に関して来訪者を含めての徹底を意識して支援にあたった。

<日中一時支援>

- ・室蘭養護学校の生徒に送迎サービスを含め対応している。

6-2 らんらん

<居宅介護・重度訪問介護・移動支援>

- ・重度訪問介護、居宅介護は、共同住宅「がだばーと」に入居している利用者への支援を中心にしている。生活の場としてリラックスして過ごす時間と意識しながら、身体介護研修を継続し、入居者の身体状況に応じたケアに努めている。夜間支援を中心にしているが、食事の提供などは家族が行っており、家族の高齢化が今後の課題になっている。

7 きたひろしま暮らしサポートセンターぼると（北広島市委託事業）

<生活困窮者自立相談支援>

（自立相談支援事業）

- ・新規相談の件数は227件で、令和2年度より4件増加し、横ばい状態となっている。最終件数を除いた継続支援中のケースは649件。
- ・支援プラン作成は54件、就労者数は17件、増収者数は1件となっている。支援件数は面談1,181件、訪問941件、関係機関との連携2,301件となっている。新型コロナ対応として、面談や訪問時間を見直し、電話・郵送・メールといった手段を積極的に活用するようにした。
- ・新型コロナ関連の相談においては、支援金の申請支援や貸付利用のあっせんが後を絶たな

い状況となっている。いつ以前のように市場が回復するか見通しがたない状況の中では長期的展望をもった相談経過を必要とするところであるが、一時的な相談を希望する方々が多いのが現状である。

○支援内容別件数（重複有）

- ・家計・経済に関する支援 3,533 件
- ・就労に関する支援 1,597 件
- ・福祉制度の情報提供や手続きに関する支援
1,392 件

（ひきこもり相談）

- ・新型コロナ期は、集団活動を行う場が制限され、広いスペースの会場の借用ができない状態が続いていた。そのため、グループ相談や居場所の設定が難しく、メールや電話、個別相談の機会を活用せざるを得なかった。
- ・今年からは、ひきこもりの個別相談をメインに据え、実施した。第1・3土曜日の13:00～15:00で実施し、2件のご家族からの相談があった。

<家計改善支援事業>

- ・家計に課題を抱える相談者の相談に応じ、家計状況を明らかにし、家計再生プランをたて家計改善にむけた意欲を引き出す。家計表やキャッシュフロー表等のツール用いて家計の見通しを一緒に確認し、ご自身で家計管理ができるよう支援を行った。

① 相談者実人数 150 名（男性 123 名、女性 27 名）

② 家計再生プラン作成数 33 件

③ 支援内容別件数

- ・家計管理支援 29 件
- ・滞納解消・制度利用支援 23 件
- ・債務整理に関する支援 13 件
- ・貸付あっせん 17 件
- ・その他（就労支援、食料支援、転居支援など）27 件

<就労準備支援事業>

- ・相談者一人ひとりに合わせたメニューを作成し、生活自立支援として定期的な居場所活動、社会的自立支援として就労体験やボランティア活動、就労自立支援として履歴書作成指導や職場見学などの支援を行った。

○支援内容別人数

- ・生活自立支援 居場所活動 18 回実施、実利用人数 8 名（内、体験利用 3 名）、のべ人数 36 名
- ・社会的自立支援 活動 21 回実施、実人数 8 名（内、体験利用 4 名）、のべ人数 24 名
- ・就労自立支援 活動 1 回実施、実人数 2 名（内、体験利用 1 名）、のべ参加人数 2 名
- ・個別の対応 利用実人数 10 名
うち、就労 4 名
(介護職、飲食業、クリーニング業、精密部品製造業)
福祉的就労 1 名

医療機関のデイケア利用 1 名
 社会参加機会の増大 2 名
 変化なし 2 名 (2 名とも、すでに就労している方の転職助言)

<学習支援事業>

- ・毎週火曜日 17:00~19:00 に中学生を対象に数学と英語の学習の機会を提供した。また毎週土曜日と夏休み、冬休み、春休み期間中には自習室を 10:00~12:00 に開催した。
- ・zoom を活用したオンライン学習を提供し、土曜自習室に関しては 4 月~7 月の期間、昨年度利用していた中学 3 年生 (現高校 1 年) の方もオンライン学習に参加した。
- ・長期休みの期間には特別学習やイベント企画を行った。特別学習として 8 月 7 日 (土) にはフードロス講座、イベント企画として 12 月 25 日 (土) にはお楽しみ会を開催した。

○3 年度の活動内容

生徒数 27 名 延べ参加人数 548 名

コーディネーター 1 名 学習支援員 16 名

火曜開講 (48 回)	土曜自習室 (40 回)	夏休み自習室 (10 回)	冬休み自習室 (10 回)	春休み自習室 (7 回)
391 名	43 名	54 名	39 名	21 名
(zoom 参加)	(zoom 参加)	(zoom 参加)	(zoom 参加)	(zoom 参加)
106 名	18 名	9 名	3 名	1 名

<一時生活支援事業>

- ・住居のない方を対象に、一定期間に限り食住を提供しながら自立に向けて支援した。ほこしあ内の一室を利用。相談は 2 件あり、実利用は 2 件 5 名であった。のべ利用日数 98 日間であった。

<食料支援>

- ・フードバンクぼすこ等から食料の提供を受け、生活保護費受給までのつなぎ、技能実習生等で、コロナで仕事がなく困窮している方などに対して食糧支援を実施した。食料は千歳市にあるボランティア団体と連携し確保するほか、今年度も市内の農家や個人等、食料を提供いただくところが増加した。
- ・配布のべ件数は 532 件。

<無料職業紹介事業>

- ・市内企業から 7 件の求人登録があり、4 件の雇用斡旋を行い、3 人の採用となった。

8 相談室ますとびいー (札幌市相談関連委託事業)

<札幌市障がい者相談支援・一般相談支援・特定相談支援・障害児相談支援事業>

- ・委託相談については、新規登録者は 138 件。終結ケースが、114 件。終結ケースを除いた登録者数は、399 件。(うち、計画相談支援 176 件、障害児相談 12 件)
- ・コロナ禍であっても、感染対策を行った上で、必要性に応じて訪問を実施した。年間 1476 件の実績を上げ、市内 19 事業所で最も多い対応となっている。

- ・計画相談の新規契約数は、39件。区内に指定相談支援事業所が少ないため、区役所や直接相談者から計画作成の依頼が入ることが多い状況であった。委託相談で対応すべきケースを見極めながらも指定に引き継がない場合は、当事業所で作成することが多く、計画作成数は、年々増加傾向となっている。
- ・新規で相談を受け付けた件数は、ご本人・ご家族からの相談は、129件。関係機関からの相談は108件。中でも8050の課題を抱えたケースが増加傾向となっており、他の関係機関との連携を要するケースも増えている状況である。
- ・厚別区地域部会においては、毎月の幹事会の開催運営、コロナ禍の中でも緊急度に応じて、臨時のケース会議を5回実施し、フットワークの軽い部会運営を行うことができた。
- ・相談支援専門員の従事者研修に対象職員が参加し、12月から1名相談支援専門員として従事が可能となった。

<地域ぬくもりサポート事業>

- ・コロナ禍で利用の問い合わせが少なくなり、チラシ配布を検討していたが、緊急事態宣言が明けてから利用者・サポーターともに問い合わせが多くなったため、チラシ配布は実施していない。
- ・これまでコロナで実施できていなかった、イオンのイベントによる周知活動を再開することができた。
- ・当法人の登録サポーターだけではなく、他の2法人と連携し、利用につながるケースが少しずつ増えている。
- ・利用期間が空いた方については、再度自宅を訪問し、利用者・自宅の状況などを確認するようにした。以前開催していたサポーター向け研修はコロナ禍のため、開催していないが、利用者、サポーターが不安に思わないように丁寧な対応を心掛けている。

<札幌市夜間休日虐待通報等受付、緊急受入先調整、一時保護業務>

- ・夜間、休日等の電話受付職員を配置し、通報者からの電話について対応することができた。受付時の対応について、2月に内部で研修を開催し、職員間で情報の共有を図っている。
- ・虐待による緊急対応は必要としないが、区役所への報告が必要なケースが急増しており、電話の対応の仕方について引き続き職員間で情報共有を図りながら対応をしていく。
- ・今年度は緊急一時保護ケースがなく、実際に法人内の短期入所を利用したケースはなかったが、今後保護先が見つからない場合も含めて、法人内の短期入所施設に応援を依頼することが見込まれるため、連携を図っていく必要がある。

<被虐待障がい者の地域生活支援調査研究事業>

- ・札幌こころのセンターからの受託。長期間にわたり虐待を受けた後、精神科病院での入院生活を経て、地域生活を送る被虐待障がい者の回復に向けたアプローチ方法についての調査研究事業を、支援員を配置して実施した。
- ・事業の実施にあたっては、当法人のほか、地域支援の実践をしている他法人とも連携しながら取り組んだ。
- ・年間の支援時間は2,491時間15分。

9 法人独自公益事業＜居住支援法人＞の実施

- ・きたひろしま暮らしサポートセンターぽるととの情報共有・業務の連携を令和3年12月より強化し、法的決定により強制退去のケース3件を短期間に課題解決を行うなど、大きな支援効果を得ることができた。障がい者相談支援事業所ますとびいーとの連携では、課題解決には至っていないが2件の入居に係る相談を実施した。
- ・居住支援相談担当者のスキル向上のため、全国居住支援協議会主催の研修会（zoom）に参加し、より一層難易度の高い住宅相談などに対してのノウハウやスキル向上を行うことができた。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の為、事業の啓発、関係機関との連携強化の取り組みや居住支援協議会加盟団体との情報共有を図るためのセミナーを開催する予定であったが中止とした。

○相談内容（令和3年4月～令和4年3月）

- ・居住に関する相談 15件 内訳（住居探し解決13件）
- ・一般相談 5件 内訳（食料支援：北広島1件、札幌4件）
- ・入居中の見守りサポート支援 1件 内訳（訪問確認等）

10 法人独自公益事業＜フードバンクぼすこ＞の実施

- ・令和3年4月からの本格的事業開始後、令和4年3月末まで延べ467世帯1621名の方々に食料支援を実施した。食糧の調達が出来ない期間もあり、この間は緊急用に購入した食品の配荷にて対応した。
- ・食品を寄贈いただいた協力企業、団体は11団体の協力で寄贈食料数は総数約17,043点となっている。令和4年1月頃から寄贈食料が極端に少なく、配荷希望にお応えできない日も出てきている。
- ・食糧の配荷については、3ヶ月を目途として支援しているが、期間内で支援終了は難しい状況と困窮世帯の増加により食料支援の依頼は増えている。

11 法人独自公益事業＜青色防犯パトロール＞の実施

- ・令和3年度においても、北広島市全域の青色防犯パトロール活動をおこなった。また、市役所から不審者情報の提供があった場合、特にその地域を重点的にパトロールし、不審者の出没の抑制に努めた。

＜令和3年度実績＞

月別	実施回数	のべ参加人数	備考（パトロール中に得た情報等）
令和3年4月	18回	36人	特に異常なし
5月	9回	18人	5/17、5/21市より不審者情報の提供あり
6月	20回	40人	6/3、6/24市より不審者情報の提供あり

7月	21回	42人	特に異常なし
8月	20回	40人	特に異常なし
9月	21回	42人	9/30市より不審者情報の提供あり
10月	14回	28人	特に異常なし
11月	20回	40人	特に異常なし
12月	20回	40人	12/8市より不審者情報の提供あり
令和4年1月	16回	32人	特に異常なし
2月	15回	30人	2/25市より不審者情報の提供あり
3月	21回	42人	特に異常なし
計	215回	430人	

12 各事業所の事故対応状況について

- ・ハニカムにおいて、令和3年10月22日（金）にご家族からの連絡により、その後の対応の中で、事業所内で職員が使用するプラスチックグローブを誤食したのものと考えられる事故が発生した。当該事故については、発覚後速やかにご家族へ謝罪と、関係機関への連絡等の事故対応を行ってしたが、今回の事故については、同じ利用者が平成20年にも誤食している事故であった。
- ・今回の事故については、当時を知る職員が少なくなっている、今回並びに前回の誤食の事故は法人の重大事故として、これから入ってくる職員や、今の職員に事故について伝えていく、事故を教訓に事故防止に取り組んでいく事を目的として、資料を作成し、伝達していく事とした。
- ・また、法人内で、過去にグループホームと、通所事業所での金銭事故についても同様に資料を作成し、併せて伝達していく事で資料作成に取り組んだ。

<令和3年度の事故等対応報告集計について>

	ハニカム	ホホエム	ともっと	ほこしあ	はっち	合計
ケガ・転倒	1件	2件	1件	3件	2件	9件
物損	3件	1件	1件	0件	1件	6件
服薬	1件	3件	2件	1件	0件	7件
苦情・その他	2件	1件	1件	0件	3件	7件
ひやりはっと	1件	4件	0件	5件	2件	12件

13 各事業所の避難訓練ならびに非常災害に向けた取り組みについて

- ・相談室ますとびーにおいては、以前からBCP策定し、内容について、継続して協議や、実際の災害時を想定した訓練を実施。他事業所では、BCP策定まで取り組むことが出来ず、次年度に策定実施に向けて、主任会議で協議を行うこと、スケジュール等を確認した。

<各事業所の避難訓練状況>

- ハニカム ～令和3年7月30日（金） 令和3年11月17日（水）
- 地域生活支援センター
 - ・あっと ～令和3年8月3日（火） 令和3年12月16日（木）
 - ・もっと ～令和3年8月4日（火） 令和3年12月17日（金）
 - ・ソレイユ～令和3年8月18日（水） 令和3年11月22日（月）
 - ・きらっと～令和3年7月19日（月） 令和3年11月25日（木）
 - ・ともっと～令和3年9月23日（木） 令和3年12月21日（火）
 - ・ともっと2号館
 - ～令和3年9月24日（金） 令和3年11月26日（金）
- ホホエム ～令和3年10月28日（木） 令和4年3月17日（木）
- ほこしあ ～令和3年7月19日（月） 令和3年11月25日（木）
- はっちは3年度避難訓練を実施できず。

14 ほこしあの建物の大規模改修と、ホホエムの事業所内改修

<ほこしあの建物大規模改修>

ほこしあの建物1階のスペースについて、法人設立から丸15年経過し、職員数も約130名になり、法人全体の会議・研修等のスペースの確保、法人本部機能拡充を目的としての改修を行った。

また、地域生活支援センターで活用しているグループホームスペースもこれまで中軽度の障がいのある方向けのグループホームを展開していたが、重度の障害のある方向け、女性利用者のグループホームのニーズに応えるべく、現在男性ご利用者6名の定員を11名定員（男性6名・女性5名）に拡充を図った。令和3年12月17日に本部移転し、グループホームの女性利用者は3月より2名入居され、4年度以降順次入居の希望に応じていく。

<ホホエムの事業所内改修>

ほこしあの改修に合わせて、ほこしあ拠点の生活介護事業をホホエムに統合し、通所定員増を図った。（30名→40名）

定員増に対応する為、日中活動スペースの個別作業ブースを新設、エアコンの設置、トイレの増設などの改修を行った。

<改修工事概要>

工期	・ほこしあ	令和3年9月16日（木）～令和3年12月17日（金）
	・ホホエム	令和3年9月16日（木）～令和3年12月27日（月）
総工費	・ほこしあ	80,938,000円
	・ホホエム	8,433,500円
請負業者	・工事施工	株式会社稲田組
	・設計監理	株式会社早坂設計

15 人権擁護・虐待防止への取り組み

- ・身体拘束ゼロへの取り組みとして、ほこしあでは令和3年度に2回実施した。「身体拘束」に関わる動画を視聴し、チェックシートによるセルフチェックを行い、意見交換により理解を深めた。
- ・虐待防止への取り組みとして、令和3年10月12日（火）北広島市主催の障がい者虐待防止研修会を5名受講し、事例から虐待対応と法的理解について学習した。

16 新型コロナウイルス感染症への取り組み

- ・令和3年5月10日（月）にホホエムの利用者家族の陽性が判明し、職員が濃厚接触の対象となり、ホホエムを一時事業所閉鎖した。
- ・ともつとでも令和3年8月14日（土）に利用者1名の陽性が判明し、感染拡大を防ぐため通所先のホホエムとハニカムの事業所閉鎖の対応を行ったが、ハニカムでも感染が広がり、ともつとでは利用者11名、職員2名の陽性が判明し、ハニカムでは利用者と職員それぞれ1名の感染が確認された。ハニカムの利用者は、入院加療対応となってしまったが、他に重症者等は確認されず、9月8日をもって収束となった。
- ・恵庭のソレイユでも利用者1名が令和4年2月4日に陽性が判明したが、ご本人は2月11日で療養解除、他の利用者、職員に感染は広がらず、他の利用者と職員は2月8日に健康観察期間終了となった。

<令和3年度の新型コロナウイルス感染症の感染状況>

事業所	陽性者	備考
ホホエム	利用者1名 (家族からの濃厚接触)	・5月10日（月）判明。濃厚接触者の利用者本人は検査できず。健康観察期間終了までご利用控えてもらう。 ・5月12日（水）～5月31日（月）まで事業所閉鎖、6月1日（火）より再開
地域生活支援センター	職員1名	・5月17日（月）判明。利用者、職員へ感染広がらず。
地域生活支援センター	利用者1名	・8月14日（土）判明。ともつとで療養。
地域生活支援センター	利用者9名	・8月14日判明からのリンクで判明。うち2名自宅療養、2名ホテル療養。
地域生活支援センター	職員2名	・8月14日判明からのリンクで判明。
ハニカム	利用者1名	・8月14日判明からのリンクで判明。医療機関で療養。 ・8月16日（月）～8月31日（火）まで事業所閉鎖9月1日（水）より再開。
ハニカム	職員1名	・8月14日判明からのリンクで判明。

ホホエム	感染者なし	・8月14日判明からの地域生活支援センター利用者の通所先のリンクとして、8月16日(月)～27日(金)まで事業所閉鎖、8月30日(月)より再開。
地域生活支援センター	職員1名	・令和4年1月27日(木)判明。利用者、職員へ感染広がらず。
法人事務局	職員1名	・2月3日(木)判明。職員へ感染広がらず。
地域生活支援センター	職員1名	・3月22日(火)判明。利用者、職員へ感染広がらず。
小計	利用者	11名
	職員	7名
合計		18名

17 令和3年度補助金受領、補助事業の採択

- ・コロナ禍における障害福祉サービス事業、介護保険事業者に対して、感染防止対策支援事業支援金を受領した。(計 90,000円)
新型コロナウイルス感染症の陽性者が発生したハニカムと地域生活支援センターとをもってにおいては、令和3年度サービス継続事業補助金を申請した。
- ・補助事業については、令和3年度居住支援法人活動支援事業補助金を受領し、居住支援業務事業所えぼっくでの活動に活用した。(補助金の交付決定額 2,292,604円)
また、社会福祉法人中央共同募金会による、赤い羽根新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーンフードバンク活動等応援助成 第3回助成に応募し、採択され、フードバンクぼすこの活動の為に食料品の購入、活動の為に備品購入に活用した(助成金額 1,000,000円)

18 理事会の開催

日時	出席理事 監事	議事・報告事項
令和3年5月3日(月)	理事6名 監事2名	<p><議事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・就業規則の別表の改定について ・給与規程の改定について ・ほこしあ・ホホエムの改修に伴う建設委員会の設置について ・評議員選任・解任委員の選任について <p><報告事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回報告以降の道への事故報告について
	理事6名	<議事>

6月14日(月)	監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業報告書(案)について ・令和2年度収支決算報告書(案)について ・令和2年度社会福祉充実残額の算定について ・評議員の任期満了に伴う次期評議員候補者の評議員選任解任委員会への推薦について ・理事候補者の評議員会への選任案の提出について ・監事候補者の評議員会への選任案の提出について ・令和3年度定時評議員会の招集について ・ほこしあの改修と、改修に伴う事業再編について <p><報告事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度監査報告について ・理事長の業務執行状況報告について
6月29日(火)	理事6名 監事1名	<p><議事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事長の選任について ・ほこしあ及びホホエムの改修工事の進捗について <p><報告事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回報告以降の道への事故報告について
7月21日(水)	理事6名 監事2名	<p><議事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほこしあの隣地の購入について ・令和3年度第一次補正予算(案)について ・定款変更届について ・財産処分承認申請及び定款変更認可申請について ・令和3年度第2回評議員会の開催について <p><報告事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回報告以降の道への事故報告について
9月13日(月)	理事6名 監事2名	<p><議事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほこしあ改修工事に係る入札の結果並びに随意契約による工事契約について
11月22日(月)	理事6名 監事2名	<p><議事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホホエム設備資金の借換について ・ほこしあ改修工事竣工に伴う、定款変更届及び定款変更認可申請について ・令和3年度第3回評議員会の開催について
令和4年2月15日(火)	理事6名 監事2名	<p><議事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度第2次補正予算(案)について ・経理規程の改定について <p><報告事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事長の業務執行状況報告について

3月23日(水)	理事6名 監事1名	<p><議事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業計画(案)について ・令和4年度当初予算(案)について ・地域生活支援センターともっとの金銭管理規程の改定について ・誤食事故発生による、法人の対応について ・監事候補者の評議員会への選任案の提出について ・令和3年度第4回評議員会の招集について <p><報告事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・前報告以降の道への事故報告について
----------	--------------	---

19 評議員会の開催

日時	出席 評議員	議事・報告事項
令和3年6月29日(火)	5名	<p><議事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業報告(案)について ・令和2年度収支決算報告書(案)について ・令和2年度社会福祉充実残額の算定について ・社会福祉法人えぼっく理事の選任について ・社会福祉法人えぼっく監事の選任について <p><報告事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度監事監査報告について
8月3日(火)	7名	<p><議事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定款変更届について ・財産処分承認申請及び定款変更認可申請について
12月15日(水)	7名	<p><議事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほこしあ改修工事竣工に伴う、定款変更届及び定款変更認可申請について
令和4年3月29日(火)	7名	<p><議事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人えぼっく監事の選任について

20 監事監査の実施

監査実施日	出席監事	内容
令和3年12月27日(月)	丸山監事	第1、第2四半期 監事監査
令和4年1月13日(木)	細川監事	第1、第2四半期 会計監事監査
3月28日(月)	丸山監事	第3四半期 監事監査

4月26日(火)	上田監事	第3四半期 会計監事監査
5月25日(水)	上田監事	第4四半期 会計監事監査
5月31日(火)	丸山監事	第4四半期 監事監査

21 第三者委員活動の実施

<委員名簿>

- 今井 明日香 委員 (弁護士)
 大西 登志子 委員 (民生委員・児童委員)
 佐々木 明美 委員 (北海道ハイテクノロジー専門学校 教育顧問)
 松岡 是伸 委員 (北星学園大学 准教授)

開催日	出席者	内容
令和3年7月5日(月)	第三者委員3名 法人職員	令和3年度の活動、事故報告、第三者委員より
11月22日(月)	第三者委員4名 法人職員	新任委員の紹介、令和3年度前期各種事故報告について、令和3年度の第三者委員活動について

<第三者委員による事業所訪問>

訪問日	訪問先	第三者委員
令和3年12月7日(火)	ホホエム	大西委員、松岡委員
12月14日(火)	ほこしあ	今井委員、佐々木委員
12月16日(木)	ソレイユ	佐々木委員、松岡委員
12月21日(火)	ハニカム	今井委員

22 法人内研修・会議の開催

<ハニカム・ホホエムでの感染症予防研修>

講師 村上 舞 氏 (保健師・看護師)

- ・令和3年11月23日(火)～ホホエムで実施 参加者 15名
- ・令和3年11月26日(金)～地域生活支援センターで実施 参加者 20名
- ・令和3年12月23日(木)～ハニカムで実施 参加者 11名

<法人内相談系事業所職員向け成年後見制度についての研修>

講師 祖母井 里恵子 氏 (弁護士)

- ・令和3年11月19日(土) 参加者 15名

<ホホエムでのノーリフトケア勉強会>

- ・令和3年11月22日(月)～12月24日(金)までの間、ホホエムの支援職員向けに動画視聴で実施。

<八丁平共生型センターはっち介護技術研修>

講師 松本 未香 氏 (株式会社シーボーと代表取締役) はっち全職員対象

○ろぐらん利用者の介護技術研修 (zoom 及び実地での開催)

令和3年4月8日(木)・4月29日(木)・5月7日(金)・6月11日(金)・
6月29日(火)・7月1日(木)・7月30日(金)・9月2日(木)・
9月24日(金)・10月15日(金)・11月5日(金)

令和4年1月14日(金)・2月4日(金)・3月11日(金)

○技能実習生への介護技術指導 (zoom 及び実地での開催)

令和3年4月8日(木)・4月29日(木)・5月7日(金)・6月11日(金)
6月29日(火)・7月1日(木)・7月30日(金)・9月2日(木)
9月24日(金)・10月15日(金)・11月5日(金)・

令和4年1月14日(金)・1月15日(土)・2月4日(金)・3月11日(金)・
3月25日(金)

<身体拘束ゼロに向けたほこしあでの取り組み>

- ・令和3年8月17日(火)～身体拘束適正化研修 参加者 10名
- ・令和4年3月30日(水)～身体拘束適正化研修 参加者 11名

<ますとびいー防災研修>

講師 古山 周太郎 氏 (早稲田大学准教授)

- ・令和3年4月17日(土) 参加者 9名
- ・令和3年10月9日(土) 参加者 10名

<夜間休日虐待通報内部研修>

- ・令和4年2月19日(土) 参加者 7名

<はっち職員向け交通安全講習>

講師 大野 光子 (ホホエム職員 元自動車学校教官)

- ・令和3年12月28日(火) 参加者 8名

23 各種委員会の開催 (別添委員名簿参照)

<感染症対策委員会>

開催日	内容
令和3年4月20日(火)	各所定例報告
5月6日(木)	新型コロナウイルス感染症に伴う通所先1本化協議、利用者様・職員向け文書発信
5月14日(金)	濃厚接触者の状況把握
5月20日(木)	各所定例報告、利用者様・職員向け文書発信
5月28日(金)	経過報告、各所定例報告
6月17日(木)	各所定例報告、口腔ケアについて
7月21日(水)	各所定例報告、利用者様向け文書発信
8月25日(水)	濃厚接触者の状況把握、各所定例報告、文書発信
9月8日(水)	各所定例報告、帰省時の行動履歴記録のお願い

9月24日(金)	各所定例報告、今後の研修について
10月22日(金)	各所定例報告、利用者様向け文書発信
11月26日(金)	各所定例報告、感染症予防研修を終えて
12月24日(金)	各所定例報告、利用者様・職員向け文書発信
令和4年1月20日(木)	各所定例報告、利用者様向け文書発信
1月25日(火)	職員陽性者の状況確認、各所定例報告
2月17日(木)	各所定例報告
3月10日(木)	各所定例報告、GH利用者の帰省自粛依頼について

<えパレット委員会>

開催日	内容
令和3年4月12日(月)	理念関係について、支援員の業務日誌(勤務表)について、今後の課題について
4月19日(月)	新年度顔合わせ、委員会の目標と活動内容の再確認
7月12日(月)	理念の周知について、ipadの使用法の再確認、委員会が取り組む新たな課題について
11月25日(木)	ケース記録の書き方について、あいさつについて、電話の取次ぎについて
12月13日(月)	各事業所のケース記録検討、呼称の徹底や今後の取り組みの確認
令和4年1月10日(月)	iPadに個別支援計画を入れる事について、ケース記録の書き方について、呼称について
3月14日(月)	委員会全体の振り返り、ケース記録の記載方法、iPadの活用方法次年度に向けて

<広報委員会>

開催日	内容
令和3年4月15日(木)	担当者の一部変更について、えぼっく通信の名称について
5月13日(木)	広報誌について、えむはと通信の振り返り
6月10日(木)	ホームページ、Facebookについて、法人広報誌について、えむはと通信7月号について
7月15日(木)	ホームページ写真掲載について、えむはと通信7月号について、今後の流れについて
9月16日(木)	Facebook掲載状況について、えむはと通信10月号発行に向けて
10月21日(木)	えむはと通信の内容の確認、ほこしあの通信(ほっこり通信)について、最近のFacebookの状況、次回のえむはと通信について
12月14日(火)	えむはと通信の確認、ほこしあの通信(ほっこり通信)について最近のFacebookの状況について
令和4年1月20日(木)	えむはと通信1月号最終確認、次回の通信発送について
3月17日(木)	今年度のまとめ、次年度の計画、えむはと通信4月号について

24 外部研修への参加

開催日	会議名等	参加者
令和3年4月8日(木)～ 5月31日(火)の間で11日間	介護職員初任者研修	鈴木くりみ
4月15日(木)	令和3年度第1回厚別区地域部会総 会・研修会(zoom)	菊地・鈴木絵里 子・布川・高山
7月9日(金)10日(土) 16日(金)17日(土)	行動援護従事者養成研修(zoom)	清水、熊谷
8月2日(月)～3日(火) 9月22日(水)	令和3年度相談支援従事者研修(現任 研修)(zoom)	鈴木絵里子
8月12日(木)・18日(水) 9月6日(月)～8日(水) 10月26日(火)～27日(水)	令和3年度相談支援従事者研修(初任者 研修)(zoom)	太田
9月1日(水)～30日(木)	介護初任者研修(zoom)	太田
9月13日(月)9月27日(月)～ 12月3日(金)	生活困窮者自立相談支援従事者養成 研修・就労準備支援事業従事者養成研 修	今井
9月7日(水)8日(木) 21日(水)22日(木)	北海道行動援護従事者養成研修 (zoom)	小松、西
10月8日(金)11月9日(火) 10日(水)令和4年1月7日(金)	相談支援従事者研修 現任研修 (zoom)	長尾
10月12日(火)	障がい者虐待防止研修会(zoom)	黒川、長尾、清水、 竹内、太田
10月14日(木)～15日(金)	相談支援従事者研修 サビ管向け (zoom)	田中
10月21日(木)	令和3年度第2回厚別区地域部会 (zoom)	松島・菊地・鈴木 くりみ・布川・高 山
11月12日(金)	北海道行動援護従業者養成研修フォ ローアップ研修(zoom)	鈴木絵里子・鈴木 くりみ
11月26日(金)	就労支援員・就労準備支援従事者養成 研修	鹿川
12月2日(木)	介護職員初任者研修	鈴木くりみ
12月8日(水)9日(木) 22日(水)23日(木)	北海道行動援護従事者養成研修 (zoom)	黒川、中谷、島村、 上野、相馬
令和4年2月3日(木)	サービス管理責任者更新研修(zoom)	吉村、吉田
2月10日(木)	サービス管理責任者更新研修(zoom)	阿部

2月17日(木)	サービス管理責任者更新研修(zoom)	中谷
2月24日(木)	サービス管理責任者更新研修(zoom)	長尾
2月17日(木)	令和3年度第3回厚別区地域部会研修会(zoom)	菊地・鈴木絵里子・鈴木くりみ・高山
2月18日(金)	北海道居住支援協議会	濱守・奥田
3月23日(水)	令和3年度居住支援全国サミット(ライブ配信)	奥田

25 寄付の受け入れ

令和3年度はフードバンクの活動の取り組みが徐々に周知され、市内在住の方より米520kg他1,860点あまりの食料品の寄贈を始め、市内の農家・団体・企業より多数の食料品及び日用品をもらい受け、年間で17,000点余りの品々を食糧支援で活用した。

上記食料品等の寄付物品について個人の方は3年度計13名、農家・団体・企業は計9先、延べ78件の食料品や日用品の寄付を頂いた。

また、北海道信用金庫ひまわり財団より50,000円、南幌町社会福祉協議会より20,000円の寄付金を受領した。

26 ボランティアの受け入れ

令和3年度のボランティアの受け入れについては、食糧支援の仕分けに実人数8名、延べ48名の受け入れを行ったが、他の事業所での受け入れは実施できていない。

27 外国人技能実習生受け入れ並びに生活支援等

- ・外国人技能実習制度を活用しての技能実習生受入れについては、新型コロナウイルス感染症の影響で、令和3年度予定していた5名の入国がなかった。
- ・技能実習生の生活支援について、法人内での情報共有と統一的な生活指導を進めるため、委託外部バックアップ会社と管理者、生活支援担当者による会議を定期的で開催した。
- ・日本語能力試験N3合格に向け、毎週水曜日おこなった。
- ・日本語能力N2合格者に、法人独自に日本語教師に日本語学習指導を委託し、日本語学習指導を毎週月曜日おこなった。
- ・実習生の住まいを確保するため、札幌市厚別区上野幌の住宅と、室蘭においては民間アパートの借上げを継続した。また、ハニカムでは、施設2階に居室を確保している。
- ・2期生2名が日本語能力試験N3に合格した。
- ・1期生3名が介護技能実習専門級試験に合格した。

31 令和3年度えぼっく年間利用実績

- ・別添令和3年度えぼっく年間利用実績参照。

別添 委員名簿

え ぱ れ ッ ト 委 員 会		委員長	黒川 浩太
		ともっと	吉田 圭佑
		ハニカム	高丸 真央
		ホホエム	田中 昌太
		ほこしあ	三浦 武也
		ぽると	千葉 健児
		事務局	渡邊 裕子

広 報 委 員 会		委員長	濱守 雅弘
		ともっと	熊谷 陸
		ハニカム	相馬 衿奈
		ホホエム	西 恵子
		ほこしあ	加藤 真姫
		事務局	渡邊 裕子

感 染 症 対 策 委 員 会		委員長	黒川 浩太
		ともっと	長尾 加奈子
		ハニカム	吉田 恭兵
		ホホエム	西村 雅之
		ほこしあ	加藤 真姫
		ぽると	千葉 健児
		ますとびいー	菊地 淳輝
		居住支援	奥田 誠
		はっち	西川 順子
		事務局	渡邊 裕子

令和3年度えぼっく利用実績

利用種別	実人員		延べ人員		利用者地区別（支給決定自治体別）														
	計	GH利用者 その他	計	GH利用者 その他	計	北広島	南幌	札幌	江別	岩見沢	恵庭	千歳	栗山	室蘭	登別	苫小牧	その他		
																		GH利用者	その他
生活介護	令和3年度	24	21	3	6,315	5,535	780	24	2	4	9	6	1	1					
	令和2年度	28	24	4	6,265	5,477	788	28	2	4	11	7	1	1					
	令和3年度	2		2	82		82	2		1	1								
	令和2年度	3		3	109		109	3		2	1								
生活介護	令和3年度	39	12	27	7,391	2,876	4,515	42	10		27	1	2	1				1	
	令和2年度	51	12	39	7,222	2,378	4,844	51	14		32	1	3	1				1	
就労継続 支援B型	令和3年度	10	3	7	1,069	448	621	10	1	3	2	3	1						
	令和2年度	11	4	7	1,220	533	687	11	2	3	2	3	1						
短期入所	令和3年度	21		21	823		823	21	7	3	5	4	2						
	令和2年度	21		21	1,084		1,084	21	6	1	8	4	2						
日中一時支援	令和3年度	7		7	79		79	7	4		2	1							
	令和2年度	10		10	291		291	10	7		3								
認知症対応型 共同生活介護	令和3年度	17	17		5,775	5,775		17	17										
	令和2年度	19	19		5,598	5,598		19	19										
GH（あっと）	令和3年度	12	12		3,759	3,759		12	2	4	4	1						1	
	令和2年度	9	9		3,266	3,266		9	1	6		1						1	
GH（ソレイユ）	令和3年度	4	4		1,447	1,447		4					4						
	令和2年度	4	4		1,435	1,435		4					4						
GH（ともっと）	令和3年度	15	15		4,361	4,361		15	4	7	2			1				1	
	令和2年度	14	14		3,991	3,991		14	4	6	3			1					
GH（ともっと2）	令和3年度	12	12		3,942	3,942		12	2	8		1							
	令和2年度	14	14		2,689	2,689		14	1	2	9	1						1	
GH（きらっと）	令和3年度	3	3		166	166		3		2			1						
	令和2年度	4	4		685	685		4		2			1					1	
共同生活 援助 計	令和3年度	46	46	0	13,675	13,675	0	46	4	4	21	6	1	5	2	1	0	0	2
	令和2年度	45	45	0	12,066	12,066	0	45	5	3	23	3	0	6	1	1	0	0	1
短期入所	令和3年度	2		2	17		17	2			2								
	令和2年度	1		1	58		58	1											
計画相談支援 （あざれあ）	令和3年度	99	14	85	199	38	161	99	45	8	6	4	1	6	3	2	1	1	22
	令和2年度	117	23	94	262	55	207	117	46	9	22	3	1	6	3	2	1	1	23
居宅介護 （てとる）	令和3年度	10	5	5	112	67	45	10	1	2	5	1							
	令和2年度	14	10	4	289	81	208	14		3	8	1	2						
重度訪問介護 （てとる）	令和3年度	1		1	305		305	1			1								
	令和2年度	1		1	359		359	1			1								
行動援護 （てとる）	令和3年度	10	9	1	100	99	1	10	2	1	4	1							1
	令和2年度	8	8		84	84		8	2	1	2	1							1

